



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 千趣会

コード番号 8165 URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田邊 道夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 経営企画本部長 (氏名) 星野 裕幸 TEL 06-6881-3220

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	96,191	△5.8	△2,621	-	△1,337	-	△1,516	-
26年12月期第3四半期	102,135	1.2	837	△46.8	1,092	△45.7	346	△70.9

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △2,201百万円 (-%) 26年12月期第3四半期 697百万円 (△70.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△31.53	-
26年12月期第3四半期	8.00	7.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	106,274	57,820	54.4	1,106.73
26年12月期	100,785	53,160	52.7	1,227.52

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 57,779百万円 26年12月期 53,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	12.00	-	12.00	24.00
27年12月期	-	4.00	-	-	-
27年12月期(予想)	-	-	-	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,500	△4.9	△3,400	-	△1,990	-	△3,240	-	△65.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日公表の「営業外収益（持分法による投資利益）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料3ページ、「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	52,230,393株	26年12月期	47,630,393株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	23,149株	26年12月期	4,322,649株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	48,099,833株	26年12月期3Q	43,308,309株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、各種金融・経済政策の効果で企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られ、緩やかな回復基調が続いておりますが、海外景気の下振れリスクが高まり、先行き不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、円安を背景とした食料品、生活必需品等の相次ぐ値上げによる生活防衛意識が依然高い状態にあり、本格的な個人消費支出の回復にはまだまだ力強さを欠く厳しい環境が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは平成30年度を最終年度とする中長期経営計画『Innovate for Smiles 2018』の2年目として、目標達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は961億91百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

利益面につきましては、通信販売事業において売上減少による利益減と円安による商品原価の増加と売上不振に伴うセール販売比率の上昇による売上総利益率の悪化により、営業損失は26億21百万円(前年同期は8億37百万円の営業利益)となりました。

経常損失はワタベウェディング株式会社の持分法適用関連会社化に伴う負ののれん11億59百万円を持分法による投資利益に計上したこともあり13億37百万円(前年同期は10億92百万円の経常利益)、四半期純損失は15億16百万円(前年同期は3億46百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の概況

(通信販売事業)

カタログ及びインターネットを中心とする通信販売事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は822億74百万円(前年同期比9.0%減)となりました。営業損失は28億73百万円(前年同期は5億25百万円の営業利益)となりました。

(ブライダル事業)

ハウスウェディングを中心としたブライダル事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は102億19百万円(前年同期比19.8%増)となりました。営業損失は38百万円(前年同期は82百万円の営業利益)となりました。

(法人事業)

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は31億11百万円(前年同期比9.4%増)となりました。営業利益は2億62百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

(その他)

保険・クレジットなどを主とするサービス事業と保育事業などを行うその他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は5億86百万円(前年同期比57.9%増)となりました。営業利益は21百万円(前年同期比134.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて54億89百万円増加し、1,062億74百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億29百万円減少し、522億24百万円となりました。これは、現金及び預金が39億36百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が22億円、未収入金が18億57百万円、その他が12億7百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。また固定資産は、無形固定資産が1億41百万円減少した一方で、有形固定資産が29億86百万円、投資その他の資産が39億73百万円それぞれ増加したことにより前連結会計年度末に比べ68億18百万円増加し、540億49百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ38億92百万円減少し、295億78百万円となりました。これは、電子記録債務が23億19百万円、その他が13億94百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ47億21百万円増加し、188億75百万円となりました。これは、その他が4億55百万円、社債が4億50百万円それぞれ減少した一方で、長期借入金が56億19百万円増加したことが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ46億59百万円増加し、578億20百万円となりました。これは、利益剰余金が21億66百万円、繰延ヘッジ損益が11億87百万円それぞれ減少した一方で、平成27年5月に実施したJ・フロントリテイリング株式会社に対する第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分により、資本金が19億45百万円、資本剰余金が28億21百万円それぞれ増加し、自己株式が27億62百万円減少したことが主な要因であります。この結果、自己資本比率は54.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想につきましては、平成27年7月24日に修正発表いたしました当期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,910	11,846
受取手形及び売掛金	6,622	4,422
商品及び製品	21,591	21,510
未収入金	9,511	7,653
その他	8,230	7,022
貸倒引当金	△311	△229
流動資産合計	53,554	52,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,963	16,769
土地	12,311	12,121
その他(純額)	2,801	3,170
有形固定資産合計	29,075	32,061
無形固定資産		
のれん	2,225	2,336
その他	3,154	2,903
無形固定資産合計	5,380	5,239
投資その他の資産		
投資有価証券	6,155	10,168
その他	6,885	6,845
貸倒引当金	△265	△265
投資その他の資産合計	12,774	16,748
固定資産合計	47,231	54,049
資産合計	100,785	106,274

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	12,124	9,805
買掛金	5,397	6,685
短期借入金	2,747	2,222
1年内償還予定の社債	700	450
未払法人税等	915	78
販売促進引当金	219	364
その他	11,367	9,972
流動負債合計	33,470	29,578
固定負債		
社債	450	—
新株予約権付社債	7,000	7,000
長期借入金	3,510	9,129
退職給付に係る負債	84	92
その他	3,109	2,653
固定負債合計	14,153	18,875
負債合計	47,624	48,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,359	22,304
資本剰余金	21,038	23,860
利益剰余金	17,086	14,920
自己株式	△2,776	△14
株主資本合計	55,707	61,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,261	1,743
繰延ヘッジ損益	2,780	1,592
土地再評価差額金	△6,724	△6,748
為替換算調整勘定	135	121
その他の包括利益累計額合計	△2,546	△3,290
少数株主持分	—	41
純資産合計	53,160	57,820
負債純資産合計	100,785	106,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	102,135	96,191
売上原価	54,155	51,605
売上総利益	47,979	44,586
販売費及び一般管理費	47,142	47,207
営業利益又は営業損失(△)	837	△2,621
営業外収益		
受取利息	31	79
受取配当金	79	76
持分法による投資利益	23	1,211
債務勘定整理益	169	208
その他	180	229
営業外収益合計	484	1,805
営業外費用		
支払利息	147	143
支払手数料	2	307
その他	80	70
営業外費用合計	229	521
経常利益又は経常損失(△)	1,092	△1,337
特別利益		
固定資産売却益	4	17
投資有価証券売却益	0	23
補助金収入	—	150
特別利益合計	4	190
特別損失		
固定資産除売却損	49	29
固定資産圧縮損	—	148
減損損失	41	126
投資有価証券評価損	150	—
投資有価証券売却損	147	—
特別損失合計	389	304
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	707	△1,451
法人税等	360	84
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	347	△1,535
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△19
四半期純利益又は四半期純損失(△)	346	△1,516

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	347	△1,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	482
繰延ヘッジ損益	37	△1,187
土地再評価差額金	—	53
為替換算調整勘定	9	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△1
その他の包括利益合計	350	△665
四半期包括利益	697	△2,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	697	△2,181
少数株主に係る四半期包括利益	0	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月7日付で、J. フロント リテイリング株式会社に対する第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、第三者割当増資により、資本金及び資本準備金が1,945百万円それぞれ増加し、また、自己株式の処分により、資本剰余金が875百万円増加、自己株式が2,762百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が22,304百万円、資本剰余金が23,860百万円、自己株式が14百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通信販売 事業	ブライ ダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	90,386	8,534	2,843	101,763	371	102,135	—	102,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	612	—	89	702	0	703	△703	—
計	90,998	8,534	2,933	102,466	371	102,838	△703	102,135
セグメント利益	525	82	220	828	9	837	0	837

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険・クレジットなどを主とするサービス事業、保育事業などであります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通信販売 事業	ブライ ダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	82,274	10,219	3,111	95,605	586	96,191	—	96,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	615	—	111	727	0	728	△728	—
計	82,889	10,219	3,223	96,332	587	96,920	△728	96,191
セグメント利益又は 損失(△)	△2,873	△38	262	△2,649	21	△2,627	6	△2,621

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険・クレジットなどを主とするサービス事業、保育事業などであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。